

子宮頸がん予防実践者勉強会

「子宮頸がん征圧、最短の道を探る」

子宮頸がんは対策次第で完全に征圧できるがんです。先進国では医療関係者・為政者のみならず、その事実は国民すべての常識となっています。しかし、我が国では30才代をピークに年間15000人の女性が罹患し3500人が死亡しており対策後進国でもあるといえます。

昨年より若年層におけるHPVワクチンの公的補助が実現しました。これは子宮頸がん征圧への道のひとつのスタートであり決してゴールではありません。なぜなら子宮頸がん検診・HPV検査・HPVワクチンには各々の意義があり、それを適切に理解し運用することで意味のある施策となるからです。

NPO法人子宮頸がんを考える市民の会では専門家からの意見を伺い、先進的な地域の事例を学び、各地域で実施出来るよう、子宮頸がん征圧への最短の道を探る勉強会を議員・行政担当者を対象に開催します。

■日時 平成23年9月27日(火) 14:30-16:30

■場所 大宮ラフォーレ清水園 J R大宮駅東口より徒歩10分

さいたま市大宮区東町2丁目204 TEL 048-643-1234(大代表)

■対象 埼玉県内の議員(県市区町村議員) 行政担当者

■費用 無料(先着200名:要事前参加登録)

■主催 NPO法人子宮頸がんを考える市民の会

★内容

- ・ あいさつ 小西宏(財団法人日本対がん協会)
- ・ 子宮頸がんは予防できるがん～病気の基本～
　　清水謙(藤間病院・産婦人科医)
- ・ 子宮頸がん検診における、細胞診精度向上のため液状細胞診の意義を学ぶ
　　山本秀巨(厚木市立病院・細胞検査士)
- ・ 検診精度を高める新しい検査方法 HPV検査の意義を学ぶ
　　今野良(自治医科大学附属さいたま医療センター・産婦人科医)
- ・ 地域例に学ぶ子宮頸がん予防検診(細胞診+HPV検査)の意義
　　岩成治(島根県立中央病院・産婦人科医)
- ・ 島根県行政からの報告
　　平田雅子(島根県健康福祉部健康推進課)
- ・ 国・県および地域がやるべき事、出来ること
　　青山キヨミ(財団法人労働衛生協会、日本がん検診・診断学会がん検診認定医)
- ・ 質疑応答
- ・ 終了

※上記の演者・内容について予告無く変更する場合がありますので予め御了承下さい。

<http://www.orangeclover.org/>

子宮頸がん 知る→受ける=予防する

NPO法人 子宮頸がんを考える市民の会

参加申込用紙



※ 頂いた個人情報は個人情報保護の観点から、今回の勉強以外には使用しません。

※ 地域交流の目的の為、会場の席はこちらで指定する可能性があります。

当日連絡先 080-1213-9537

■ 問い合わせ・連絡先

9月20日(火)までにお申込下さい

NPO法人 子宮頸がんを考える市民の会 担当 渡部（わたなべ）、和田

〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-12-1 塩谷ビル202

TEL:03-5821-2151

■ 返信先 FAX:03-5821-2156 ■

watanabe@orangeclover.org

<http://www.orangeclover.org/>

所属（あれば）

お名前

電話番号

Mail